

大患難期前に天で起こること

2026年4月12日

序：2月まで大患難期前に地上で起こること（恵みの時代、教会の時代）

今週から、その後起こること

ヨハネの黙示録は、新約聖書の中の預言書である

I. ヨハネの黙示録の内容

(1) 1章：使徒ヨハネがパトモス島に流刑、御霊に導かれて、見たこと、今あること、後に起ころうとすることを書き記すよう命じられる
イエス・キリストの圧倒的な輝かしい顕現

(2) 2～3章：7つの教会へ書き送る
エペソ、スミルナ、ペルガモ、ティアティラ、サルデイス、
フィラデルフィア、ラオディキア

聖霊の働きの時代、教会の時代（聖霊降臨～擄挙）

これらは当時実在した教会、後世に世界各地に立てられる教会のモデル

(3) 4～22章

① 4～5章 大患難時代の前に天で起こる出来事

② 6～18章 大患難時代 教会は出て来ない（すでに擄挙されたから）

③ 19～22章 大患難時代の後、再び、教会が出てくる

∴ 教会の擄挙は大患難時代より前である（前提条件なし、いつあってもよい）

II. 大患難時代の前に天で起こること

(1) 神の御座 4・1～11

厳粛で壮麗な天

① 御座に着いておられる方（世々限りなく生きておられる方）

② 24人の長老たち＝贖われ（白い衣）勝利した（金の冠）聖徒たち

③ 神の七つの御霊（火のついた七つのともしび）

④ 4つの生き物：セラフィム イザヤ 6・1～5

4つの生き物と24人の長老たちは、栄光と誉れと感謝をもってその方を礼拝

(2) 小羊と封印された7つの巻物 5・1～14

① 御座に着いておられる方の手にある巻物を解くことのできる方は小羊のみ
小羊：贖いを成し遂げた主イエス・キリスト 巻物を受け取る

② 御座と4つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に立っていた

七つの角と七つの目（神の七つの御霊）

③ 4つの生き物と24人の長老たちが小羊を礼拝（賛美と祈りによって）

新しい歌：罪人をその血をもって贖い、造り変え、地を治める者とした

④ 数え切れないほど大勢の御使いたちの轟く賛美（ほふられた小羊＝神）

⑤ 全ての被造物（神に造られたもの）の小羊への頌栄

4つの生き物、24人の長老たち、御使いたち、すべての造られたものが礼拝

III. 結び

(1) 神が受納してくださる礼拝がどのようなものなのか、天において神を礼拝する時を
覚えながら、今地上でささげている礼拝を向上させていこう

(2) 礼拝の大切な要素は神への賛美、感謝、祈りである それは変わらない

(3) すべての栄光は永遠・不変の神（父、子、聖霊）に帰する

∴ 神は創造主であり、救い主であり、最終的な審判者だからである

(4) この神とともに歩む生活、御国を目指す旅がクリスチャン生活

喜怒哀楽、順境・逆境、試練も直み、死さえも益とされる身の幸い